

# 議会だより

No.124  
2024.5.1 発行

もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



## 表紙の作品

第5回観光協会観光フォトグランプリより

題名『総合公園春景』

コメント 「満開の桜が青空に映え、蓮池の水にも映りこんでとても綺麗だったので撮影しました。」



撮影者：大谷木 春男さん

撮影場所：毛呂山総合公園

2～3P 令和6年度予算概要

4～5P 令和6年度予算ここが聞きたい

6～8P 3月議会ではこんなことが決まりました

9～15P 一般質問13人が登壇

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

☎049-295-2112

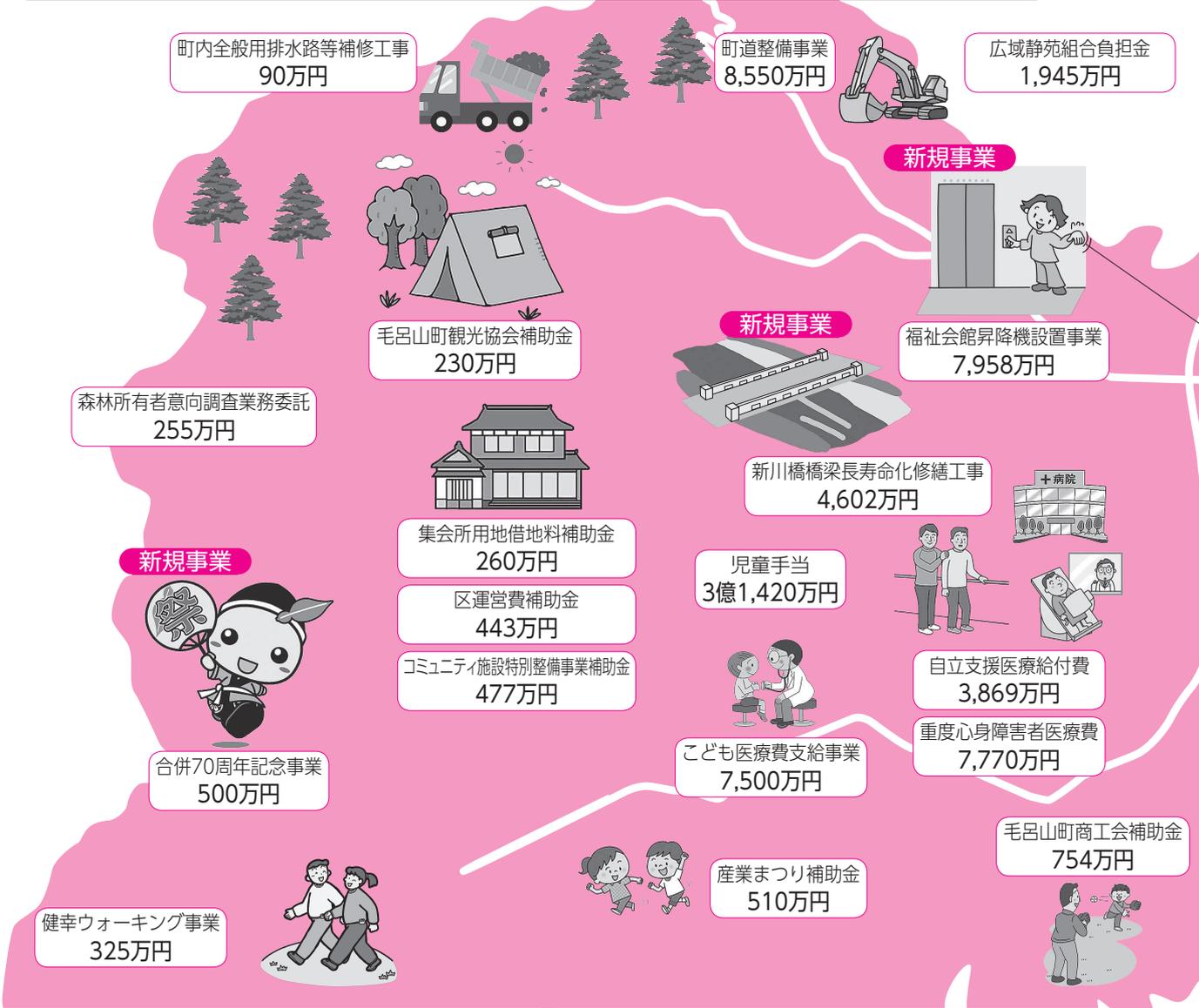
バックナンバーはこちらです⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。



# 令和6年度予算決定!



## 水道事業会計

日常生活に欠かせない生活用水を安全供給するための予算です。とくに老朽管の布設替え、および老朽施設の改修を積極的に行います。

【収益的収入】 水道料金など  
8億5,121万円 (前年度比3.1%減額)

【収益的支出】 水道施設維持管理、県水受水費など  
7億6,998万円 (前年度比1.9%減額)

【資本的収入】  
1億 387万円 (前年度比42.1%減額)

【資本的支出】 配水施設整備など  
4億7,025万円 (前年度比6.6%減額)

## 介護保険特別会計

31億2,269万円  
(前年度比7.9%増額)

介護を必要とする人や、介護予防が必要な人が、安心して生活を送るために使われる予算です。

## 農業集落排水事業会計

収益的収入: 4,048万円 資本的収入: 1,698万円  
収益的支出: 4,048万円 資本的支出: 2,397万円

農村地域の生活向上を図るために、汚水の処理を行います。現在は主要な処理施設の建設が終了し、施設維持管理費用が中心となっています。  
※令和6年度から企業会計へ移行しました。

# 5日間の集中審議

## 556項目の 質疑あり!

※万円未満切り捨て

### ふるさと納税推進事業 1,999万円

事業概要：ふるさと納税制度を活用し、町に対する寄附額の増加を図るもの。



Q 各地のホテルやレストラン、現地で使える現金相当のポイント等の返礼品が増えている。ゴルフ場利用券などの導入は。

A 体験型を増やせるように努力する。

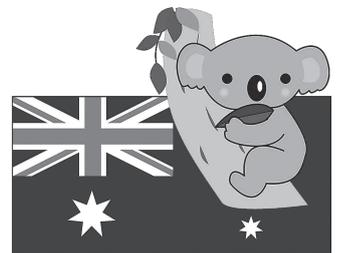
新規事業  
重点事業

### 中学生海外留学事業（オーストラリア） 203万円

事業概要：令和7年度に実施予定の海外留学事業について、交流プログラムによる現地の学校やホームステイ先の確保等を実施するもの。

Q 基金を使用して行うこの事業は毎年行うのか。

A 毎年行う予定。埼玉県と友好都市になっているブリスベンを選んだ。子供達の学習意欲向上などが期待できる。



### 商店街活性化事業補助金 10万円

事業概要：商店街の活性化及び振興を図るための事業に対し、補助金を交付するもの。

Q 個人飲食店が20年間で63%減少しており、町の商店街も大打撃を受けている。補助金が10万円は少ないのでは。

A 予算に限りがある中で、商店街のイベントなどに補助金を出している。今後、商工会や観光協会などと連携して、商店街の活性化をはかる。



重点事業

### 防犯カメラ整備事業 442万円

事業概要：犯罪のない環境づくりを推進するため、防犯カメラの設置や維持管理を行うもの。

Q 令和3年度に計画された防犯カメラ設置事業が令和6年度で終了。防犯カメラは犯罪抑止力に効果はあり、今後増設予定はあるのか。

A 予定していた20基の防犯カメラ設置が令和6年度で終了するが、今後は設置した防犯カメラの検証を踏まえて対応していく。



新規事業  
重点事業

### 小中学校給食費無償化事業 9,276万円

事業概要：町立小中学校給食費の保護者負担分を無償化することにより、子育て世帯の経済的な支援を行うもの。

Q 今後食材費が高騰した場合、町は給食費全てを負担するのか。町が負担する金額に上限をつけるべきでは。

A 全て町が負担する。



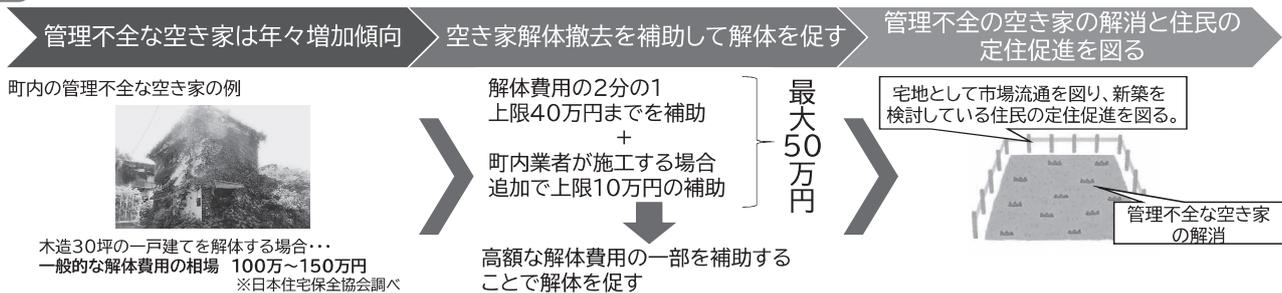
新規事業  
重点事業

## 空家等解体補助事業 150万円

事業概要：管理不全な空き家の増加抑止のため、空き家の解体を補助し、空き家の解消と定住促進を図るもの。

**Q** 更地にすると固定資産税が上がる、土地が売れない、相続人が複数いるなど空き家のままにする理由がある。本事業を利用し更地にした場合、数年間固定資産税の減免を併せて行うなどの対策が必要では。

**A** 税務課と連携して検討していく。



新規事業  
重点事業

## 紙おむつ処分事業 197万円

事業概要：使用済の紙おむつを各園で処分することとするため、町内の保育所等に処分費用の一部を補助するもの。

**Q** 今まで要望して実現できなかったが何故このタイミングで計上したのか。

**A** 財源不足があり実現できなかった。子育て支援を重点施策とする考えがあり、新規事業とした。



新規事業  
重点事業

## 旭台地区雨水排水対策概略設計業務委託 368万円

事業概要：東武越生線より南側の旭台地区の道路冠水の解消に向けた概略設計を行うもの。

**Q** 地球温暖化が進み、旭台地区に住んでいる町民は大雨が続くと常に冠水の危険にさらされている。一刻も早い雨水排水の完全整備が必要だが如何か。

**A** 一番良い方法で雨水排水整備をして地元町民の皆さまに安心して生活できる環境を提供していけるように努力していく。



旭台地区雨水排水対策現地調査

## 毛呂山町未来応援奨学金返還支援補助金 594万円

事業概要：若い世代の定住促進を図るため、大学等を卒業し本町に定住する場合に、在学時に借入れた奨学金返還に対する補助を行うもの。

**Q** 広報紙やホームページを見ない若者は毛呂山町未来応援奨学金返還支援補助金の存在を知らない。今後の周知策は。

**A** 広報紙やSNSでの周知はもちろん、大学を介した周知に力を入れていく。



# 委員謝金で議論白熱!!

## 修正案が可決 96,000円を削除!!

### 令和6年度一般会計予算審議の概要

令和6年度一般会計予算が予算決算常任委員会に付託され、5日間の審議が行われました。新規事業としては、給食費無償化、小中学校体育館空調設備設置工事など子育て・教育に重点をおいた予算が上程され、その中で、小中一貫校準備委員会委員謝金96,000円について削除する修正動議があり可決すべきものと決しました。本会議においても修正案が可決され、その後、一般会計予算に対する附帯決議が提出され可決しました。

### 予算に対する修正案の提出理由

提出者 長瀬 衛 議員

学校統廃合は関係機関や隣接行政区のみならず、今後の町のあり方や教育行政にも大きな影響を及ぼす大変重要な案件だ。小中一貫校における施設形態や今後の学校施設や廃校に関する場合について、慎重に調査研究を重ねたうえで議会は判断する必要があるのでこの修正案を提出する。

### 討論 ～私はこう考える～

原案に賛成します

高橋 達夫 議員

令和6年度一般会計予算は、将来を見据えた持続可能なまちづくりを推進するため、町の最優先課題である少子化対策を重点とした予算であり、どれも欠かせないものである。まして小中一貫校準備委員会委員謝金は急激に進む少子化に備え、平成25年から目指してきた小中一貫教育の学校編成に係る絶対に削れない予算である。

荒木 かおる 議員

子育て世帯の経済的負担軽減の為に給食費無償化。また、町の指定避難所である小中学校6校の体育館にエアコン導入、福祉会館エレベーター設置は避難所環境の整備充実、教育環境の向上、公共施設のバリアフリー化の観点から大変評価できる。財源として緊急防災減災事業債の有効活用は町のご努力と感謝を申し上げる。

佐島 啓晋 議員

小学校のアンケートでは、単学級を求める方は0・2%しかなく、3学級を選んだ方は71%という結果が出ています。人口統計の推移をみても小学校の統廃合は避けては通れない道であることは間違いありません。令和11年は学習指導要領の大改定の時期でもあり、これ以上引き延ばすことが出来ないの、原案に賛成します。

修正案に賛成します

堀江 快治 議員

今回の修正案は、小中一貫校準備委員会委員謝金の予算を削除したものである。現在までの教育委員会の説明では、多くの町民が現状を認識していない様に見受けられる。将来的には学校統廃合は避けて通れないが、現段階では時期尚早であり、まずは小中学校編成計画を町民に理解して頂く努力が必要なため、修正案に賛成する。

小野 浩 議員

一般会計予算の原案の歳出・教育総務費の中に「小中一貫校準備委員会委員謝金9万6千円」とある。町は施設一体型一貫校と隣接型一貫校の計画を持っているので、この予算を認めると私が反対している施設一体型の一貫校を認めることになる。修正案は謝金を削除し予備費に入れるとなっている。よって修正案に賛成する。



# 小中一貫校準備委員会

## 附帯決議（一般会計予算）

提案者 中村 奨平 議員  
賛成者 議員一同

独立した行政委員会である教育委員会と予算編成権を持つ町長が協議し策定した毛呂山町教育大綱（第3期毛呂山町教育振興基本計画）が令和3年に策定された。それに基づき作成された毛呂山町立小・中学校編成計画の実現に向け、小中一貫校準備委員会を来年度に開催し、その予算を計上していることについては、教育委員会の自主性および中立性を考慮し、本来であれば尊重すべきである。

しかしながら、毛呂山町立小・中学校編成計画について住民はもろろのことながら議員内でも意見が分かれている。事実、毛呂山町小中一貫校施設整備基金条例は総務文教常任委員会にて否決すべきものと採決された。小中一貫教育実現に向けて丁寧な議論し共に歩まなければ、毛呂山町立学校設置条例改正案が提出された時に立ち行かなくなることが予想される。そのような事態を避ける為にも、左記について適切な措置を講じ、万全を期すべきである。

一 小中一貫教育を進めるための施設分離型を含む施設形態等、学校教育環境の充実に向け検討を行い、合議制の住民代表機関である議会と十分な協議をすること

二 将来、統合となった場合には跡地利用に関して、小学校体育館空調設備等整備事業に係る費用をもってサロココスト効果に陥らず、小中学校の規模適正化や施設複合化、町の長期的な発展や人口・税収増加につながる官民連携による事業等の検討を行うこと

以上、決議する。

## 激論!!!

条例案は総務文教常任委員会にて否決すべきものと決しましたが、その後本会議で可決しました。

## 毛呂山町小中一貫校施設整備基金条例 可決!!

### 制定の理由

小中一貫教育に適した教育環境の整備に要する経費の財源に充てるため、毛呂山町小中一貫校施設整備基金を設置するための必要事項を規定するもの。

### 制定の内容

基金の種類は特定目的基金（取り崩し型）とし、積み立ては一般会計の歳入歳出予算において定める。令和5年度一般会計補正予算では1億円を計上。基金は、小中一貫教育推進に伴う小中一貫校の建設、改修その他の整備に要する経費の財源に充てる。

### 反対討論

岡野 勉 議員

今、町は住民の声を「聴く耳を持たない」状態にある。何としても3月議会で、学校統廃合の方向性を決定しよう。住民の声・意見を、住民自治を蔑ろにしているか。これまでの広聴会、パブリックコメント、今年1月の住民説明会ではほとんど反対の意見表明だった。今度は財政面で住民の声を抑えようとしている。

小野 浩 議員

基金条例は小中一貫校の施設整備の為の基金であり、教育委員会の計画では施設隣接型と施設一体型の小中一貫校である。とりわけ川角中の校庭に校舎を新築して、1年生から4年生を入れる計画は、教育的に見て児童生徒にとって良い教育環境とは言い難い。したがって、毛呂山町小中一貫校施設整備基金条例案に反対する。

### 賛成討論

高橋 達夫 議員

毛呂山町教育委員会は職務として令和11年度開校を目前に小中一貫校を目指している。毛呂山町立小・中一貫教育編成計画にはその施設費として約13億円を必要とする。このような大事業には町の財源なしの空手では済む訳がない。備えあれば患いなし、小中一貫校施設整備基金は、この小中一貫校事業に絶対に必要である。



# 3月議会で生活に関する重要な条例や補正予算が可決されました

## 新規条例

犯罪被害者等に  
見舞金を支給

遺族見舞金30万円  
重傷病見舞金10万円

毛呂山町犯罪被害者等支援条例は、犯罪被害者等の支援に関する施策の基本となる事項を定め、犯罪被害者等が再び平穏な生活を営む事ができるよう支援を図り、犯罪被害者等を支え合う地域社会の形成に寄与することを目的とします。

町は、犯罪被害者等が受けた被害による経済的又は精神的な負担の軽減を図るため、犯罪被害者等に見舞金を支給します。  
なお、犯罪行為による死亡若しくは重傷病の発生を知った日から2年を経過したとき又は死亡若しくは重傷病が発生した日から7年を経過したときは、見舞金を申請できません。

## 生活福祉常任委員会での主な質疑

**問** 重傷病見舞金は肉体的なものとの精神的なものが含まれるのか。

**答** 怪我の外に精神疾患も含まれる。

**問** 見舞金の決定に対し町長の判断はどこですか。

**答** 警察の被害の認知を確認した上で判断する。

## 条例改正

学童保育所の  
料金体系見直し

学童保育所の設置及び管理に関する条例について、改正前は月の途中での入所や退所をした場合にも、1か月分の使用料でした。  
改正後は日割りにて使用料を計算することになりました。



## 条例改正

固定資産税相当額の  
奨励金を廃止

毛呂山町企業誘致促進条例は進出企業に対して奨励金を交付してきましたが、全区域の進出企業が決定し、一定の成果を得た状況となったので、奨励金を廃止することとしました。

## 専決処分

国の物価高騰対応臨時交付金 1億193万6千円を追加

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業  
○住民税均等割のみ課税世帯に対して  
1世帯当たり10万円の給付  
○低所得の子育て世帯に対して  
18歳以下の子ども一人当たり5万円の給付



## 人事

農業委員会委員の任命について反対の討論がありました

討論 ～私はこう考える～

長瀬 衛 議員

応募定数を超えない農業委員の任命において、これまで町農業に貢献した認定農家を排除した。守秘義務や政治活動制限等に、一切抵触してなく「馴染まない方がおられる」という意見書を基に評価委員会が判断した事は、個人の人權と尊厳に関わる重大な名譽棄損である。ご本人に真意を確かめる事なく弁明の機会も与えていない。

岡野 勉 議員

今回の委員の任命については、定数内6名で立候補者が期限内に収まり締め切られた。しかし、その内のAさんが任命の名簿から削られて議案として提出された。Aさんは私の地元で人柄を含め、よく存じている。熱心に農業委員の職務を遂行され、多くの問題提起を農業委員会に投げかけていた。町にとって大きな損失だ、復活を望む。

小野 浩 議員

原案に6名の委員名があるが、ここには1名の方が規定通り応募されたにもかかわらず、「適任でない」という評価委員会の判断で別の方が入ったようである。本人に弁明の機会を与えることなく外されたことは憲法11条の「基本的人權の尊重」に反しているように思われる。町は原案を撤回すべきものと考え、原案に反対する。

一般質問

町政を問う!

~13名が登壇~

- 学校統廃合
- (株)もろやま創成舎の検証
- 定年延長に伴う人事管理

堀江 快治

- 教育・子育て環境の充実
- 行財政改革
- アピアランスケア
- イベント

小峰 明雄

- 目指すべきは学校統廃合ではなく施設分離型小中一貫校
- 第5次総合振興計画等の検証と令和6年度の行政運営に向けて

長瀬 衛

- 防災対策
- スポGOM I
- デジタル人材の確保・育成

荒木かおる

- 空き家対策
- 子育て支援

千葉三津子

- 地域ケアシステムの課題と対策
- 立地適正化計画

佐藤 秀樹

- 公園整備
- 町の飲食店の減少対策
- ゴルフ教室によるスポーツ振興

佐島 啓晋

- 防犯ボランティアゆず
- 毛呂山町バスの有効利用

澤田 巖

- 少子化対策
- 督促手数料導入

中村 奨平

- 学校統廃合
- デマンドタクシー

小野 浩

- 学校統廃合 (小中一貫校)
- 学校給食の無償化

岡野 勉

- 毛呂山町の防災及び災害対応
- 学校統廃合
- 地球温暖化対策

平野 隆

- 毛呂山町の人口の現状
- 令和6年度当初予算
- 町の地震対策

高橋 達夫

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。

学校統廃合は時期尚早ではないか!

答 早い段階で、より良い教育環境を提供したい



堀江 快治

進めるのか。

児童・生徒が減少していく中で小中一貫教育の充実を図ることを目的としている。

今までに学校施設には多額の財政投入を実施している。費用対効果についての見解は。

適切な学習環境が保たれており、効果があったと認識している。

文部科学省や有識者の見解

を踏まえた上でも現在の状況では施設分離型で進めていくことが現実的だと考える。本来に施設一体型が子ども達にとって良い環境なのか、今一度研究していくべきでは。

小学校と中学校の教員が連携して指導が行いやすい、施設一体型及び隣接型小中一貫校を整備することで教育環境の向上を図っていききたい。

(株)もろやま創成舎の検証

創成舎が町から委託を受けているふるさと納税の実績についての見解は。

当初の想定とは大きく違っ

ている現状である。

本来の目的と違う再生可能エネルギーに舵を切っているように見受けられるが。

創成舎の自走資金確保の面もあるのでご理解を。

定年延長に伴う人事管理

役職定年制度の運用は生産性のある組織としていくことが重要である。職務分析を行い、職務内容の見える化を進めるべきでは。

ご指摘のとおり人材育成を含めてしっかりと実施していきたい。



統廃合の対象とされる150周年を迎えた川角小学校

## 中学校吹奏楽部の楽器ご所見は

### 答 購入後20年以上経過している状況



小峰 明雄

**問** 中学校吹奏楽部の楽器は、高額な為に購入することが出来ず、部員が自分で用意する場合もある。経済的理由から入部を断念することを心配する。

**答** 中学校吹奏楽部の楽器ご所見は、

**問** 学校の備品として購入し、修理をしながら使用している。

**答** 楽器不足に、楽器寄附ふるさと納税制度・ホームページ等を活用した自治体があるが通告後に調査されたのか何う。

**問** 寄附の受付を検討する。

**答** 学校での保護者等からの集金をキャッシュレス決済導入は教員等の負担軽減と考えるが。

**問** 紛失などの事故防止、業務負担軽減につながるかと考える。

**答** 無償でのオムツ宅配を導入して子育て世帯の経済的負担の軽減等に取り組み自治体があるが、ご所見は。

**問** 効果的な事業と認識する。

**答** 民間保育所等育成費補助金事業の評価や検証は。

**問** 保育環境の充実につながっているものと評価している。

**答** 定年引上げに伴う60歳以上職員の働き方についてご見解は。

**問** 今後も組織機構検討委員会を定期的に開催し、より適切な働き方を検討していく。

**問** がん・心臓・脳卒中を含む救命救急に特化した病院が、あることを、鑑みると、がん患者アピアランスケア用品の購入費助成は、本来であれば近隣自治体に先駆けて取り組む助成事業と考えるが。

**答** がん支援センターも設置された医療機関なので前向きに、検討する。

**問** 昨年は多くのイベントが、再開されたがご所見は。

**答** コロナ感染症の集団感染の報告もなく、安全かつ盛大に実施が出来た。

## 答 施設一体型、隣接型を進める

### 小中一貫教育は現状のまま



長瀬 衛

**問** 避難所等として地域の拠点となつている学校の統廃合は保護者や地域住民の声に委ねるべきである。児童生徒の減少や施設維持費を理由に学校編成計画

が進められており、多くの町民が疑問視している。近隣自治体では、少人数学級の導入等で学力を向上させ、不登校を減少させており、学校にお金をかけ綺麗にすれば学力が上がるとい

う教育委員会の考え方は間違いである。統廃合計画を決定した検討委員も一方的に事務局が進め、主な発言者は学校長である。情報を持っていない住民代表やP

TA代表から統廃合の意見はない。また、法に基づくパブリックコメントの結果、ほぼ全員が統廃合反対意見である。つくば市が実施した施設一体型と連携型の比較検証結果は「小・中学校が分離していた方が教育効果は高い」と総括し、「子供たちを育てるには一つの村が必要だ。スクールバスに乗せて地域から切り離すことは愚挙であり、一貫校が良いという証明はない」とある。施設分離型一貫教育を充実させるべき。

**問** 小・中学校を統合し、施設一体型、隣接型とする一貫校に

より、更なる学習意欲の向上が図られ学力向上や不登校の抑制が期待できる。

**第5次総合振興計画等の検証と令和6年度の行政運営に向けて**

**問** この10年、総合戦略も大幅に見直しとなった。また、住民合意を度外視した為、多くの事業がとん挫し「身の丈」を超えた事業も余りにも多い。

**答** 結果を真摯に受け止め、住民との信頼関係の構築や「身の丈」にあった行財政運営を行っていく。



150年の歴史を刻む名門川角小学校



中学校吹奏楽部の楽器を計画的に購入を

## トイレトレーラーの導入を

### 答 調査研究し検討してまいる



荒木かおる

**問** 災害時のトイレ確保は非常に重要。現在の本町の災害用トイレ備蓄状況や断水時に避難所が開設された場合の対応策は。

**答** 防災倉庫の他、避難所であ

る公共施設に電動型トイレ31機、簡易トイレ116個を備蓄。実災害時に施設のトイレが使えない場合、速やかな設置を行う。

**問** 災害規模によるが、備蓄している災害用トイレの数で断水時の避難所トイレは対応可能か。

**答** 避難所の避難者に加え、自宅避難の方が避難所のトイレを使用する場合、備蓄のトイレだけでは対応が困難となる。

**問** 能登半島地震ではトイレトレーラーが活躍した。トイレがトレーラーになっており、部屋が4つあり、衛生的な移動トイレで、購入には非常に有利な緊急防災減災対策債が適用できる。導入のご見解は。

**答** 衛生力が高く、長期に及ぶ使用にも被災地のエネルギーを必要としない大変有用なトイレ。調査研究を重ね検討して参る。

**問** ペット同行避難に対する注重点や運用の周知は。

**答** 対応を進めているが注重点や運用の周知は実施していない。

**問** 同行避難に特化した訓練を

行うべきでは。

**答** 同行避難訓練を行っている先進事例を調査研究し町の訓練に反映して参る。

**問** スポGOMI

**答** 環境美化とスポーツを融合させたイベント、スポGOMIの開催、ご見解は。

**問** 実施している自治体や発案団体に開催方法等確認しながら実施に向け検討。

**問** デジタル人材の確保・育成

**答** 今後の町の取組は。

**問** DX推進担当者を中心に職員全体の意識改革とポトムアップを図る事が第一。



越谷市トイレトレーラーは現在能登の被災地支援へ！

## どうなる！町の危険な空き家

### 答 法的順序を踏み町独自の考え方を示していきたい



千葉三津子

**問** 人口減少や高齢化が進む中、町の空き家問題は重要な課題だ。長年放置している空き家は、倒壊の恐れがあり、深刻な問題だ。県内でも本町の空き家率は高い

推移にあるのではないかと思うが、現状と課題を伺う。

**答** 空き家の発生予防から解消までの対策を総合的及び計画的に実施するために「第2次毛呂山町空家等対策計画」を策定。山町空家等対策計画」を策定。助言や指導等を行っても改善されない空き家は特別措置法での特定空家に認定し、助言・指導・勧告・命令の措置を進める。

**問** 管理不全空家の勧告を実施

した場合に、固定資産税が増額となるがあるが内容を伺う。

**答** 地方税法の規定によると住宅用地特例が解除になり優遇措置6分の1が無くなるため結果的に増額になる。

**問** 全国の中では、空き家の除去後、跡地を10年間以上、地元自治体に貸与することで、町に寄附ができるという規定を設けている市町村があると聞くが本町のお考えを伺う。

**答** 特定空家の行政代執行においては法的な順序を踏まなくてはならないが、今後は町独自の考え方を示していきたい。

**問** 産後ケア事業では利用したくても費用面で利用ができない方もいるのでは。

**答** 来年度より国の補助金を活用し利用促進に繋げる。

**問** こども家庭センターの設立とあるが予定は。

**答** 令和7年度の整備を前提で進めて参りたい。

**問** 少子化対策の一環として子育て支援推進策は。

**答** 安心して子育てできる環境を整備する事が、将来にわたり持続可能なまちづくりの推進のためには重要。民間委託の活用なども検討。

#### 【応急措置件数】

年度	件数
平成29年度	4件
平成30年度	9件
令和元年度	7件
令和2年度	7件
令和3年度	5件

一早く管理不全な空き家の対処を

## ケアマネージャーにも対策を！

### 答 負担軽減を検討する



佐藤 秀樹

**問** 介護従事者への影響は。  
**答** 訪問介護等の介護サービス事業所の介護職員を対象に処遇改善が図られるが、ケアマネージャーは対象外。

**問** ケアマネージャーから介護サービス以外の生活支援などの要請があり仕事量が増え、仕事が大変だと聴くが如何か。  
**答** 介護サービスのみで在宅生活を維持していくことが困難な事例が多くなっている。

**問** 現在ケアマネージャー不足で介護認定を受けられず順番待ちになっていると聴くが如何か。  
**答** 議員ご指摘の民間活力も活用しながらケアマネージャー負担軽減に向け、生活支援の充実をすべきではないのか。

**問** 介護保険料を支払っている以上、介護を受ける権利は当然だ。町としても例えばケアマネージャーに対し助成金を用意するとか、作業軽減を図る為に民間の力を借りるなど何らかの対応をすべきではないのか。  
**答** 今後引き続き、目白台地区に必要とされる施設を誘導するために粘り強く取り組んで行く。

ジャーは対象になっていない。

**問** 本町に限らずケアマネージャーの成り手不足が続いておりケアマネージャーが見つからない時は、近隣市町に所在する居宅介護支援事業所も含め、調整を行っている。  
**問** 立地適正化計画の北部居住誘導区域である目白台に対し何年もかけて診療所やスーパーマーケットの誘導、そして公共交通ネットワークを検討した結果が今の状況である。今後どうしていくのか絵空事ではなくより信憑性のある答弁を求め。

を図っていく。



ケアマネージャーに対する職場改善も検討を

## 公園に防災コンテナの設置コストは

### 答 コンテナ購入額は約200万円程度



佐島 啓晋

**問** 元旦に起きた能登地震において防災用コンテナが役に立ったと聞いている。公園などに設置を考えていないか。  
**答** 一般的な4坪程度のシャツ

ター付、防災用コンテナを購入した場合、本体が約200万円、諸経費で50万円程度になる。防災用倉庫とコミュニティスペースを兼ねた利用が考えられる。平時には公園に設置し、災害時には避難所などに運搬して使用することは、災害時の様々な局面に対応できる。設置主体である国土交通省と協力しながら研究していく。

**問** 公園のトイレの設置費用と年間管理費はいくら掛かるのか。  
**答** トイレの設置費用は平成27年度に設置した西戸グラウンドの木造屋外トイレが約1870万円、年間管理費が20万円程度になる。

**問** 飲食店の減少傾向が続いている。飲食店の育成についてどのような対応をしているのか。  
**答** 飲食店は非日常感やレジャー性を楽しむ目的もあり、観光資源にもなる。今年度は、キャッシュレス決済推進及び物価高騰対策としてキャッシュレスポイント還元事業を実施した。また、開業支援策として「空き店舗活用創業チャレンジ支援事業」や商工会との共催で「もろやま創業塾」を実施している。イベント関連としては、スーパーやドラッグストアの駐車場などを利用した「ウェルカムマーケット」などを、観光協会、もろやま創成舎などで行い多くの来場者でにぎわった。



通常は公園に設置され、災害時には被災地に運べる防災用コンテナ

「防犯ボランティアゆず」は必要不可欠

答 安定的な運営を目指していく



澤田 巖

平成17年(2005年)、毛呂山交番廃止に伴い自主防犯組織「防犯ボランティアゆず」が結成。官民一体での活動は毛呂山町の防犯意識と犯罪抑止力の

向上に大きく貢献し続けている。結成より約20年が経過し、ボランティアを担う方の高齢化もさやかれているが現状は。

結成当時の方の高齢化が進み免許証返納者が増加。青色回転灯パトロール車を運転出来る方が減少している。平成28年は79名、現在は51名。近隣市町での青色回転灯車の活動状況は。

西入間警察署管内では防犯ボランティア又は職員による防犯パトロールは週に1・2回程度の活動。毛呂山町のように週5日、児童の下校時に職員とボランティアが合同で実施している自治体はない。

平成20年には名誉ある「安全・安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣賞」を受賞した「防犯ボランティアゆず」、高齢化も進み存続が危ぶまれている。毛呂山町にとって、その活動と存在は必要不可欠である。今後の継続策はあるのか。

現会員からの勧誘や広報紙での募集、ポスターなど掲示をすすめ会員確保をしていく。

毛呂山町バスの有効利用

平成27年に更新された町バス。41人乗りで大人数の移動が可能。ただ規則が厳しく町民が気軽に利用できない。新型コロナナウイラスにより世の中が大きく変わり自治会のコミュニケーション不足がささやかれている。町バスを利用し、その解消の一因にすべきでは。

町民利用拡大に向け、今後精査して進めていく。



ところ狭しと週5日、町内を巡回

保育園第2子以降無償化を導入しない理由は

答 財源の問題のみ



中村 奨平

令和4年の毛呂山町合計特殊出生率は0・68、日本全国は1・26、町は突出して低い。どのような検討をしたか。

保育料無償化は効果的な支援策と認識しているが、令和6年度に小中学校等給食費無償化事業に約1億1千万円を予定している為、財源が限られている。給食費無償化もひとりの親として大変ありがたいが、町の最大課題である少子化に対し、より優先度が高いのは保育料無償化ではないか。追加予算約2千万円で実現できる。すぐに実現できないならば、せめて「第

1子と第2子が同時に保育園、認定こども園等を利用している場合、第2子の保育料半額ではなく、「生計を同一にする子どもが2人以上いる場合、年齢・税額に関わらず、最年長の子どもから順に第2子の保育料は半額」という運用に4月から変更できないか。

税の公平性からおかしい。支出削減の為に督促手数料200円の導入検討は。

事務量の大幅な増加が予想されるため、難しい。納期内納付のために口座振替を推進していく。

督促手数料導入により、納期内納付が増えれば職員の事務量が減る、増えなくとも町の経費は削減出来る。予算が少ない我が町は導入すべきでは。

事務量増加を理由に廃止を検討する自治体もある。町は納税率の向上に努める。

年間およそ130万円。納期限内に納めた者よりも遅く納める者が経済的に得になり、

第3子の壁 単位：人

町内 出生者	第1子	第2子	第3子	第4子
令和4年度	47	36	16	3
令和5年度(4月~12月)	27	29	13	4

単位：万

日本	専業主婦世帯	共働き世帯
1980年	1,114	614
2020年	571	1,240

核家族化も進み、行政による保育サービスが現代では必須年間30万円前後の保育料・第2子保育料無償化実現を

## パブリックコメントの感想は

### 答 統合によるデメリットを指摘される



小野 浩

**問** 子どもの権利条約12条についてどのように認識しているか。  
**答** 年齢、成熟度を考慮の上で自分に関係のあることについて意見を聴取される権利を有する。

**問** 若い世代や子育て世代の声を聞いたのか。  
**答** 未就学児の保護者に情報提供し周知を図っている。  
**問** パブコメの感想は。  
**答** 統合することによるデメリットを指摘された。  
**問** 「小中学校のあり方検討委員会」の結果をどう受け止めるか。  
**答** 今後の方向性については、「毛呂山のスタイルを継承してほしい」「子どもたちの安全を最優先に」「不登校児童生徒への対応を」の声を参考にした。  
**問** 1年生から4年生まで新校舎の多目的室でどんな授業を行うのか。  
**答** 1年生から4年生までの理科、図工、音楽を想定している。  
**問** デマンドタクシーについて  
**答** ワゴン車4台とデマンドタクシー1台の経費はどうか。  
**答** 合計約5100万円。  
**問** バス停までいけない人への対応はどうか。  
**答** 住民の移動需要に応える方策について検討している。

## 学校統廃合は待った！ 撤回すべきだ！

### 答 住民の不安を取り除くよう努める



岡野 勉

**問** 今年1月21日、28日。川角、毛呂山、泉野、光山小学校各体育館で毛呂山町「学校編成」計画案の住民説明会が開催された。参加状況と出された意見、今後

**問** 細が分かって安心した」など。パブリックコメントの結果は17名中、16名が反対意見だった。なお、パブリックコメントは政策等に対する賛否を問うものではなく、政策等の内容充実にあり今後の審議の参考とし、編成計画を策定して参る。  
**問** パブリックコメントの意見は正に、町が「住民の意見を尊重していない。合意の無いままに学校が廃校にされる」ことへ黙っていられない、意見表明だ。学校統廃合は撤回すべきだ。  
**答** 説明会等で出された意見は保護者、住民の不安を取り除くよう分析し解決できるように努めて参る。  
**問** 学校給食の無償化について  
**答** 学校給食の完全無償化に当たり、留意点として「給食の質」の確保が重要だ。  
**答** 無償化になった後も、食材の品質や栄養価を適切に確保する。  
**問** 無償化の対象が公立の小中学校、保育園とある。その毛呂山の子ども全てが対象とすべきだ。  
**答** 特別支援学校など20数名が無償化の対象外となる。早急に検討する。



「小学校の存続を！」の声は圧倒的だった（光山小学校）



小学校がないと移住者は増えない

## 防災訓練は

### 答 実施している



平野 隆

問 本町は過去、どのような災害に見舞われたか。

答 昭和22年のキャスリン台風、昭和34年の伊勢湾台風、昭和41年の台風26号などが挙げられ、

当時、農業林業に多大な被害が発生した。また、大正12年の関東大震災、昭和6年の西埼玉地震も本町に影響があったと記録されている。

問 今後、想定される本町を襲う災害は。

答 台風または集中豪雨による風水害、地震による災害、雷雨による停電を含めた落雷被害、大雪による雪害、木造密集地や

林野等の大規模火災などが想定される。

問 防災計画、本町のご所見は。

答 コロナ禍で中止や縮小を余儀なくされてきたが、防災訓練を本格開催し参加者の体験機会の増加を図っている。

#### 学校統廃合

問 統廃合のメリットは。

答 まず、単学級が解消され、小中学校の望ましい規模である、2クラス以上が確保できる。次に、小中一貫教育の更なる充実が図られる。

問 統廃合のデメリットは。

答 現在より通学距離が長くなる。

り、スクールバスなどの導入が想定される。

問 統廃合を進める中で、いじめや不登校などの問題が置き去りにならないか心配だが如何か。

答 いじめ、不登校の問題については学校の統廃合に関わらず取り組むべきものと認識している。

#### 地球温暖化対策

問 町の取組は如何か。

答 二酸化炭素を削減するため、毛呂山町地球温暖化対策実行計画を策定している。

## 第3子の出産祝い金に100万円の支給は

### 答 少子化対策として前向きに検討する



高橋 達夫

問 町の令和4年度の出産者数と合計特殊出生率は。

答 出生者数は108人で合計特殊出生率は0・68である。

問 この率は埼玉県下で最低か。

答 県内で下から5番目である。

問 先日の新聞は国の少子化対策が噛み合っていない、ズレがあると指摘している。識者の意見として教育格差是正に公費支援が必要と言っている。町でも奨学金の支給あるいは第3子の出産祝い金100万円の支給を考慮されないか。この方が給食費無償化事業より、経費がかからず有効と思うがどうか。

答 町としても今後少子化対策として前向きに検討していく。

問 令和6年度当初予算について

答 令和6年度予算の特徴は、

将来の毛呂山町を視野に入れた特に少子化対策に重点を置き、子育て世帯への経済的支援を最大限に充実させた予算である。

問 給食費無償化予算約1億円が計上されているがその財源は。

答 予算編成時に各種事業の圧縮や事業選択を実施し、さらに普通建設事業に起債の活用と財政調整基金から2億9千万円の繰り入れをした。

問 給食費無償化は一度始めた

らやめられない事業だ。次年度以降の財源は。

答 厳しい事業選択や基金、国からの交付金に期待していく。

問 物価高に対する高齢者対策の予算は本年度あるか。

答 本年度の予算は限られた財源の中で予算編成しているため高齢者対策事業は計上していない。

#### 町の地震対策

問 町の庁舎は震度7規模の地震に耐えられるのか。

答 改修後の庁舎は7クラススの地震には耐えられる。



第3子出産祝い金100万円支給を



防災訓練の様子

●議案の審議結果（3月定例会）

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案		議員名													審議結果	
		中村要平	佐島啓晋	小野浩	平野隆	澤田 巖	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉津子	岡野 勉	小峰明雄	高橋達夫	長瀬 衛	堀江快治	下田泰章	
新規 条例	小中一貫校施設整備基金条例	○	○	×討	×	○	○	○	○	×討	×	○討	×	×	議	原案可決
	犯罪被害者等支援条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
一部 改正	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例・職員の給与に関する条例・職員の育児休業等に関する条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例・学童保育所の設置及び管理に関する条例・介護保険条例・指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例・企業誘致促進条例・水道事業給水条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
廃止	高額療養費貸付基金条例・国民健康保険出産費貸付基金の設置及び貸付に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
専決 処分	一般会計補正予算（第5号）・税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
当初 予算	一般会計	○	×	○討	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○討	議	修正可決
	(修正案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	(修正部分を除く原案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
補正 予算	国民健康保険特別会計・水道事業会計・農業集落排水事業会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	一般会計（第6号）	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	議	原案可決
人事	国民健康保険特別会計（第3号）・水道事業会計（第2号）・介護保険特別会計（第3号）・後期高齢者医療特別会計（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	固定資産評価審査委員会委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
請願	農業委員会委員	退席	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	退席	議	同意
	未審議事項を審議するよう求める請願	議会運営委員会へ付託													閉会中の 継続審査	
発議	議案第19号令和6年度毛呂山町一般会計予算に対する附帯決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

表彰

◎令和5年度全国町村議会議長会  
自治功労者（在職27年以上）  
高橋 達夫 議員

◎令和5年度埼玉県町村議会議長会  
自治功労者（在職12年以上）  
佐藤 秀樹 議員

人事

◎固定資産評価審査委員会委員  
小峰 裕次 氏

毛呂山町岩井西  
昭和31年生

◎選挙管理委員会委員  
野村 かおる 氏

毛呂山町南台  
昭和32年生

野神 幸雄 氏

毛呂山町大字下川原  
昭和17年生

吉田 忠幸 氏

毛呂山町大字苦林  
昭和24年生

柏谷 明美 氏

毛呂山町岩井西  
昭和40年生

◎農業委員会委員  
新井 功 氏

毛呂山町大字前久保  
昭和37年生

大野 謙一 氏

毛呂山町大字阿諏訪  
昭和36年生

岡野 鈴代 氏

毛呂山町大字西大久保  
昭和28年生

小川 收一 氏

毛呂山町大字岩井  
昭和30年生

柴崎 寿男 氏

毛呂山町大字西戸  
昭和30年生

波田 一三雄 氏

毛呂山町大字葛貫  
昭和22年生

傍聴席

3月定例会傍聴者数	
本会議日	傍聴者数
3月 1日(金)	0名
3月 4日(月)	29名
3月 5日(火)	16名
3月 6日(水)	13名
3月 7日(木)	2名
3月21日(木)	4名
合計	64名

※定例会は年4回開かれます。  
(3月、6月、9月、12月)

あとかぎ

さわやかな5月の風の吹くころ  
となりました。議会だより124  
号をお届けします。

2024年は能登半島地震から  
始まりました。被災地の様子を見  
るたび2011年にボランティア  
で行った石巻や気仙沼のことを思  
い出します。普段何気なく使っ  
ているトイレが使えること、風呂に  
入れることはスペシャルなことな  
んだと感じました。あの時、校庭  
の隅に植えた桜の木もだいぶ大き  
くなりました。一日も早い復興を  
願うばかりです。

ウクライナやパレスチナで戦火  
に逃げ惑う子どもたちの姿を新聞  
や画面で見ると、胸が痛みま  
す。

人の心は良くもなり悪くもなり  
ます。相手に対するリスペクトの  
気持ちが大切ではないでしょうか。

小野 浩

編集委員

委員長 澤田 巖  
副委員長 荒木かおる  
委員 中村 奨平  
佐島 啓晋  
小野 浩  
佐藤 秀樹  
アドバイザー (議長) 下田 泰章